

筑波大学大学院

図書館情報メディア研究科博士前期課程

学 位 論 文 梗 概 集

平成23年度

筑 波 大 学

はじめに

平成 23 年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文梗概集を刊行いたしました。本梗概集には研究科の多様で先端的な研究の成果が集結しています。研究科長として、論文完成に至るまでの大学院生各位の努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や査読者を始めとする論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室の職員の方々に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードできる人材を養成すること」を使命としてかけ、「社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワーク」を対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な教育研究を行っています。そのような多面性を実現するため、情報メディア社会分野、情報メディアマネジメント分野、情報メディアシステム分野、情報メディア開発分野の四つの教育研究領域を設置し、また修士の学位も図書館情報学、情報学、学術のいずれかを付与できることとなっています。ちなみに本年度における本研究科の修士学位取得者 35 名を、教育研究領域別にみると情報メディア社会分野 8 名、情報メディアマネジメント分野 11 名、情報メディアシステム分野 8 名、そして情報メディア開発分野が 8 名であり、学位の種類別では、修士（図書館情報学）が 14 名、修士（情報学）が 18 名、修士（学術）が 3 名です。

博士前期課程の修了者は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職であれ、修了者各位が本研究科で学んだ事や修士論文を完成させるまでの研究生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして活躍されることを期待します。

この修士学位論文梗概集は一論文当たり 2 ページという分量を設定しています。研究内容によっては不十分かも知れませんが、学会等の講演予稿集程度の分量であり、研究の骨格を知るには十分と考えます。本研究科の教員・学生はもとより、本研究科とそこでの研究教育に興味と関心をお持ちの多方面の方々にお読みいただき、図書館情報メディア研究の発展にご支援いただければ幸いです。

2012 年 3 月

図書館情報メディア研究科長 植松貞夫

目 次

《 修士（図書館情報学） 》

安 蒜 孝 政	図書館における大学生の情報探索行動
伊 藤 大 吾	古事記・日本書紀における神代の生物の分類とそのデータベース化 ～解説に着目して～
太田 あす香	古典籍の知識構造を起点としたアクセス手法の提案
川 瀬 直 人	大学図書館における研究開発の現状と課題に関する研究
下山 佳那子	日本の公立図書館が実施する図書館評価の理論と実際 ～評価学の理論に基づく分析～
高 鍋 唯	国立大学法人化と研究生産性
西浦 ミナ子	筑波大学附属図書館における学問領域別にみる学生利用者の特徴
廣瀬 怜 那	実世界指向ディスカバリサービスの開発
茂 木 瞳	大学生における死の認識過程 ～質的調査を通しての考察～
森 安 周 平	音楽資料を対象とした OPAC の FRBR 化
横 松 令 奈	明治時代の恋の句についての研究 －「明治新撰俳諧姿見集」を中心に－
韓 智 淑	韓国の記録物管理制度 ～刊行物管理を中心に～
小 竹 諒	教員研修機関における著作権研修の現状と課題
福 田 純 子	国内の鍼灸師養成施設図書館におけるサービスの現状と課題

《 修士（情報学） 》

泉 聡 一	シルエットベースの歩容識別手法による図書推薦 サイネージシステム
石 井 亮 登	縦送り表示における文章の表示方法と読みの関係
石川 里佳子	自己理解のためのロールモデル可視化システム
伊 藤 剛	ネットワークの利用状態測定に基づく P2P ファイル 共有の最適化方式
枝 隼 也	話題空間の構成に基づく探索的検索過程の可視化に 関する研究
太 田 壮 祐	関数従属性と包含従属性を用いた XML-RDB マッピング手法に 関する研究

大 武 美 香	3 者間共食コミュニケーションにおいて食事行動が会話に 与える影響
片 山 健 幸	がん患者の意思決定機会における情報支援
畔 田 暁 子	中学校美術科における鑑賞学習指導に関する研究 ー教材教具の利用についてー
重 田 桂 誓	表紙生成エンジンを用いた二次元配置型 Web キュレーション システムの開発
石 睿	声質変換における韻律特徴パターンの変換手法の研究
田崎 雄一郎	Web ページの注目領域を対象とした情報探索・集約に 関する研究
林 大 策	情報整理を支援する対話型検索インタフェースに 関する研究
本 間 維	メタデータスキーマと XPath を用いた HTML 文書からの メタデータ生成モデル
安 武 宏 珠	知的財産としての伝統的知識・フォークロアの保護
弓矢 英梨佳	Web データを対象とした包含従属性発見支援のための ランキング手法に関する研究
周 暁 麗	先住民族文化の法的保護の課題
吉 村 直 子	東日本大震災前後のマイクロブログサービス Twitter における 公共アカウントの利用分析
《 修士（学術） 》	
石 井 秀 賢	わが国におけるトレードドレス保護の可能性 ～店舗外観の保護を中心として～
宮 川 祈 里	雑誌『團圓珍聞』における挿絵の研究 ー擬人的動物を描いた諷刺画に着目してー
諸 井 弘 子	『修紫田舎源氏』における「源氏香之図」の特徴